

# 平成25年度第4回岐阜県事業評価監視委員会

## 議事要旨

1. 日時：平成25年9月5日（木）14：00～16：00

2. 場所：岐阜県庁 6階 6南2会議室

3. 出席委員：岐阜大学 理事兼副学長 杉戸 真太  
岐阜工業高等専門学校環境都市工学科 教授 岩瀬 裕之  
岐阜大学総合情報メディアセンター 教授 篠田 成郎  
岐阜大学地域科学部 准教授 三井 栄  
岐阜市柳津町商工会女性部 部長 奥村 茂子  
美濃商工会議所 会頭 高井 孝市朗  
岐阜県農業協同組合中央会 専務理事 守屋 啓司  
恵南森林組合 代表理事組合長 山内 章裕  
岐阜県間税会連合会 事務局長 山下 泰  
農業、岐阜県コミュニティ診断士 服部 昭彦

### 4. 議事

議事1 議事要旨署名委員の指名について

議事2 再評価実施箇所の説明及び審議について

- ① 林道事業：公共林道事業【揖北線】県事業
- ② 林道事業：公共林道事業【大谷～大柘線】県事業
- ③ 林道事業：公共林道事業【中美濃線】県事業
- ④ 林道事業：公共林道事業【白尾～鷺見線】県事業
- ⑤ 林道事業：公共林道事業【二間手～水沢上線】県事業
- ⑥ 街路事業：連続立体交差事業【名古屋鉄道名古屋本線】県事業
- ⑦ 街路事業：土地区画整理事業【高山駅周辺地区】高山市事業
- ⑧ 街路事業：土地区画整理事業【可児駅東地区】可児市事業

### 5. 議事要旨

○議事要旨署名委員の指名について

委員長から署名委員として岩瀬委員、奥村委員、篠田委員を指名。

○再評価実施箇所の説明及び審議について

①林道事業 [事業主体：岐阜県]

・審議事業：公共林道事業【揖北線】

・説明者：森林整備課 長沼課長

#### 【審議】

山内委員

既設林道の幅員は5mですか。

説明者（長沼課長）

5mの所と4mの所があります。

守屋委員

事業の進捗状況ですが、他の林道に比べ進捗が遅いように思われますが、理由は何でしょうか。

説明者（長沼課長）

他の路線は、他の既設林道を使って工区を増やして事業を進めたりしますが、この林道については、急峻な地形で起点側と終点側からしか入っていきません。また、途中に岩盤が出て施工に時間がかかっています。さらに、用地の問題で計画を見直しまし

たが、尾根に上がる箇所が非常に厳しく、時間と経費がかかりました。

守屋委員

事業期間が平成34年度までとなっていますが完成できますか。

説明者（長沼課長）

事業期間の延長が必要になると思います。

杉戸委員長

事業期間を延長する場合には、事業費の見直しもあると思います。コスト縮減に取り組みられていますが、両方含めて検討されるということですか。

説明者（長沼課長）

検討していきます。

杉戸委員長

おおよそいつ頃、完成する予定ですか。

説明者（長沼課長）

予算の配分状況等によっても変わってきますので何とも言えませんが、早期完成に努めたいと思います。

#### 【審議結果】

- ・間伐を主体とした森林整備を促進させる必要があり、木材搬出を推進する必要があること。また、地元から強い要望もあることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

#### ②林道事業〔事業主体：岐阜県〕

・審議事業：公共林道事業【大谷～大栃線】

・説明者：森林整備課 長沼課長

#### 【審議】

山内委員

幅員4m～5mとありますが、4mと5mの割合はどのくらいですか。

説明者（長沼課長）

幅員4mの所が総延長の約1割です。

山内委員

幅員4mと5mは、どのような基準で分けているのですか。

説明者（長沼課長）

急峻なところでは掘削土量が大きくなりますので、できるだけ幅員を4mに抑えるようにしています。

山内委員

幅員4mであると車道は3.6mになりますか。

説明者（長沼課長）

車道が3.0m、路肩が50cmずつになります。

三井委員

他の事業と比較すると、この事業だけB/Cが前回と変わっていません。他の事業は前回に比べて下がっていますが、この事業のB/Cが変わらなかった要因はなんでしょうか。

説明者（長沼課長）

B/Cが下がっている理由は、評価方法が見直されたことによります。この事業につきましては、四捨五入の関係で、前は1.54を1.5に切り捨て、今回は1.46を1.5に切り上げていますので、他の事業と同様に、実際は0.1ぐらい下がっています。

杉戸委員長

事業期間が非常に長いですが、事業期間は延長していますか。

説明者（長沼課長）

延長しています。

#### 【審議結果】

- ・地元から強い要望があり、大型製材工場の進出による木材の需要増大への貢献が図られることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

③林道事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：公共林道事業【中美濃線】
- ・説明者：森林整備課 長沼課長

【審議】

山内委員

天然林の所に林道が出来てからしばらくたちますが、天然林の整備がされていないのはなぜですか。

説明者（長沼課長）

この場所は、多目的保安林に指定されておりまして、治山事業等で整備をしたり、遊歩道を入れて、森林浴などを楽しんでいただけるエリアという位置付けで整備されております。

【審議結果】

- ・地元から強い要望があり、高賀三山や多目的保安林を背景とした「癒しの空間」として、今後も多くの利用者が見込まれることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

④林道事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：公共林道事業【白尾～鷺見線】
- ・説明者：森林整備課 長沼課長

【審議】

山内委員

大型製材工場の予定があるのは、この地域ですか。

説明者（長沼課長）

はい、位置図に記載してありますように、白鳥ICの近くに予定されております。

【審議結果】

- ・間伐をはじめとした地域の森林整備と間伐材等の木材の搬出利用が進められること。また、地元から強い要望もあることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

⑤林道事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：公共林道事業【二間手～水沢上線】
- ・説明者：森林整備課 長沼課長

【審議】

- ・意見等なし。

【審議結果】

- ・間伐をはじめとした地域の森林整備と間伐材等の木材の搬出利用が進められること。また、地元から強い要望もあることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

⑥街路事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：連続立体交差事業【名古屋鉄道名古屋本線】

・説明者：街路公園課 奥原課長

## 【審議】

高井委員

高架と地下のどちらが良いか検討されたことはありますか。

説明者（奥原課長）

地下化の検討も行いましたが、地下にすると高架の3倍ほど事業費がかかるため高架化の計画としました。

高井委員

県、地元、名鉄が負担する金額は決まっていますか。

説明者（奥原課長）

この事業は国の補助金を受けて実施しますが、名鉄が7%、残りの93%のうち国の補助が55%、県と市が残りの45%を半分ずつ負担します。

高井委員

もう着工していてもおかしくない事業だと思いますが、なぜこれほど時間がかかっているのですか。どこかから手をつけたらどうでしょうか。

説明者（奥原課長）

JR高架事業は用地の確保が比較的容易でしたが、名鉄高架事業は補償対象だけでも200件以上あり、地元や関係機関との合意形成がなかなか進みませんでした。現在は地元も熱意を持っておりますので、早く進めていきたいと考えています。

杉戸委員長

B/Cですが、前回2.8が今回1.3になったということで、その説明として、名鉄の本数が8割くらいに減ったためということでしたが、名鉄の本数が2割減ったことがB/Cに影響するのですか。

説明者（奥原課長）

事業効果は事業の前後で比較しますので、名鉄の本数が減ったことにより、従前の踏切の遮断時間が減り、事業効果が小さくなりました。

杉戸委員長

B/Cが下がった理由は、名鉄の本数が減ったことだけですか。

説明者（奥原課長）

交通量の他に、1時間あたりの便益を計算する時間単価がマニュアルの改正によって、3分2程度に減ったことによりB/Cが下がりました。

篠田委員

時間短縮1時間あたりの経済的な便益評価の原単位が変わったため、B/Cが下がったということだと思いますが、原単位が変わった理由はなぜですか。

説明者（奥原課長）

マニュアルが平成20年に改訂されましたが、時間価値原単位は賃金データを基に算出しております。前回改訂時（H16）と今回（H20）と比較して、非正規社員の増加や、事業所の対象が5人以上から5人未満も含めるように変更されたため単価が下がりました。

岩瀬委員

費用対効果の分析で、移動時間の短縮などの交通関係しか計算しておりませんが、この事業を実施することによって、土地の価格が上がるというような効果を便益に入れば、もっと効果は上がるのではないかと思います。入れられないのですか。

説明者（奥原課長）

マニュアルでは、移動時間短縮、走行経費減少、交通事故解消の3便益で効果を分析することになっており、土地の価格については対象外となっています。

杉戸委員長

この事業の効果は非常にあると思いますので、そのような効果も評価されると、より事業が進めやすくなるのではないかと思います。

## 【審議結果】

- ・交通量は減少傾向にあるものの、踏切渋滞や踏切事故の危険性は今後も続くこととみられることから早期の踏切除去が必要であり、関係者から強い要望もあることから、事業

主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

⑦街路事業〔事業主体：高山市〕

- ・審議事業：土地区画整理事業【高山駅周辺地区】
- ・説明者：高山市 駅周辺整備課 区画整理G 谷口リーダー

【審議】

山内委員

全体の事業進捗率が78%ですが、用地関係は全て終わっていますか。

説明者（谷口リーダー）

駅の東側の広場で建物の移転が一部残っています。駅の南側の建物については契約が済んでおります。

杉戸委員長

事業期間が平成10年度から平成29年度までとなっていますが、最初から決まっていたのでしょうか。

説明者（谷口リーダー）

平成25年度までの計画で進めておりましたが、事業区域の中に駅前広場と駅舎があり、JRとの協議に時間がかかったのと国の方で自由通路の整備に関する要綱等について、鉄道会社と協議をするのに時間がかかったため、平成29年度まで事業期間を延長しました。

服部委員

費用対効果分析でB/Cが街路整備事業、土地区画整理事業ともに下がっていますが、なぜでしょうか。

説明者（谷口リーダー）

街路整備事業につきましては、前回（平成20年度）のB/Cは、平成15年度のマニュアルで算出しましたが、その後、平成20年度にマニュアルが改訂され、便益がでにくくなったことにより下がりました。土地区画整理事業につきましては、地価の差額で計算しますが、地価が下がったことにより、その影響で下がりました。

守屋委員

地価が下がったとのことでしたが、事業を実施した区域と実施していない区域の下がり具合に違いはありますか。

説明者（谷口リーダー）

駅の東側の地価をみますと区域内の方が下がりが少ないです。

守屋委員

そのような効果はB/Cを計算するときには評価できないのでしょうか。

説明者（谷口リーダー）

事業を行った場合と行わなかった場合の地価の差額にて評価を実施しますので、区域の中と外での地価の下がり具合の違いを評価するようなマニュアルになっておりません。

篠田委員

B/Cが下がった一番大きな理由は、国のマニュアルの改訂により算定方式が厳しい方向に変わったことだと思います。平成15年度のマニュアルを前回の評価で使い、平成20年度のマニュアルを今回の評価に使っていますが、このように、国のマニュアルは定期的に改訂されていくものなのでしょうか。5年～10年の間隔でマニュアルが改訂されていく度にB/Cが下がっていくことになると、将来的にB/Cが1を切ることもあり得ると思いますが、その時に事業をやめるということが言えるのでしょうか。経済状況が変わったことによりB/Cが下がるのは当然のことですが、算定の方式が変わったことにより、B/Cが変わっていくのはおかしい感じがしますので、この事業評価委員会の中でも何かコンセンサスを得られるといいのではないかと感じました。もう一点、交通事故減少便益が-3%となっているのは、道を広げたことによって交通事故が発生しやすくなっているということなののでしょうか。これを少なくとも0%にするようなことはできないのでしょうか。地元の人にとっては、事業を実施したことにより交通事故が増えるということは、いいことではないと思います。

説明者（谷口リーダー）

5. 5 m以上の交差点が増えると交差点として危険度が増したという判定を受けるため、マニュアルに沿って算定すると、事業により増えた交差点によりこのような結果になってしまいますが、地元からは、整備によって安全に通れるようになったという声をいただいております。

杉戸委員長

費用対効果分析は国の基準であり絶対的なものではないと思います。B/Cが1以上なくても必要な事業はあると思いますし、B/Cを得るためだけの事業になってしまう危険性もあると思います。

#### 【審議結果】

- ・事業の必要性があり、効果も期待できること。また、地域住民等関係者から強い要望もあることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

#### ⑧街路事業〔事業主体：可児市〕

・審議事業：土地区画整理事業【可児駅東地区】

・説明者：可児市 都市整備課 奥村課長

#### 【審議】

杉戸委員長

費用対効果分析でB/Cが1.0とありますが、1.0以上なのか1.0を下回っているが、四捨五入で1.0となっているのかどちらでしょうか。

説明者（奥村課長）

1.0以上です。

岩瀬委員

コスト削減の取り組みの上水道のところで、占用事業者と協議するだけで3千5百万円の減額というのは、もともとの見込みが甘かったのではないかという感じがしますがどうでしょうか。

説明者（奥村課長）

地下埋設物は道路面から1m20cmというのが基本的な数字ですが、今回、埋設深を60cm程度に浅くすることができないかということ協議しましてコストを下げることができました。

服部委員

事業の進捗率（全体）が90%となっていますが、ほぼ終わっていると言ってもいいくらいですね。

説明者（奥村課長）

自由通路の計画についてJRとの協議に時間がかかっておりまして、もう少し時間が必要です。

#### 【審議結果】

- ・事業の必要性があり、効果も期待できること。また、市民から強い要望もあることから、**事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。**

○再評価実施箇所の審議結果について

【林道事業】

- 公共林道事業【揖北線】
- 公共林道事業【大谷～大柘線】
- 公共林道事業【中美濃線】
- 公共林道事業【白尾～鷺見線】
- 公共林道事業【二間手～水沢上線】

継 続  
継 続  
継 続  
継 続  
継 続

【街路事業】

- 連続立体交差事業【名古屋鉄道名古屋本線】
- 土地区画整理事業【高山駅周辺地区】
- 土地区画整理事業【可児駅東地区】

継 続  
継 続  
継 続